

# 労働相談室だより

働く者の相談室ひろしま

〒732-0057 広島市東区二葉の里 1-3-16 吉村ビル 3 階

☎ 082-262-3751 E メール roso34@ybb.ne.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/rososhi>

## 緊急に解決すべきは 第16回学習会開く

「労働相談ひろしま」は、10月20日に今期第2回（通算16回目）の学習会を開催した。呉からのメンバーを含め12名が参加し、約二時間、終始熱のこもった学習会となった。

テーマは、「私たちの労働・雇用政策要求とは何か」で、チューターは谷本世話人。

その内容は、呼びかけにもあるように「この一年、アメリカ発の経済恐慌が世界を覆い、経営側は危機打開策としていともたやすく“非正規切り”を行ない、そのことによって膨大な解雇者が生み出されました。不当にも当事者は、解雇によって即、住宅追い出しと食うにも困る窮状に追い込まれました。寄せられる相談事項は深刻さを極め、労働問題に止まらず生活問題にまで踏み込まないと解決ができない多くの事態に直面しました。しかし、雇用保険が適用されないとか、生活保護の申請が困難なケース、失業給付が切れて生活保護が適用されるまでの期間、何らの保証もなく途方にくれる多くの相談者、等々の問題を前に、セーフティネットのずさんさを痛感させられました。そこで、7月に開催した第一回学習会は、『HOW TO 生活保護』をテーマに、ケースワーカーを勤めてこられた講師をお招きし、だれでも使える生活保護制度を学習しました。今回は、その続きとも言うべきテーマです。先の総選挙で自公政権が打倒され、労働者保護緊急対策で合意した鳩山連立政権が誕生しました。未だ法案としては審議に上っていませんが、想定される緊急対策を検討し、私たちの労働・雇用政策を対案として煮詰めてみようという試みです。労組再評価の有利な情勢をも活用して、どうこの窮状を打開していくのか、皆で議論を深めよう」というものだ。

提起は、レジュメにそって様々な資料が用いられた。民主党マニフェストとその問題点、経営側の反論への批判、私たちの長期・短期の政策要求、そして労働運動再生のチャンスはどう活かしていくのか等、多角的視点からおこなわれた。

論議では、全労協はどのような政策と取り組みを考えているのか、アメの後には消費税を含めて増税が待ち構えているのではないかと、湯浅さんが国家戦略室の参与になったことをどう評価するのか、社会保障基本法と福祉国家戦略との関連、研修生問題を通して見えた受け入れ先の零落企業としての問題点、20年間の連合支配が主原因、など

の意見が出された。

こうした論議から、何が中心の問題点で、どのように取り組んでいかなければならないのかについて、以下のようにまとめられた

最大の問題点は、非正規労働では「普通に働いている」にもかかわらず、労賃が生活保護より低いことにある。しかもたやすく首を切られ、抗う手段が見出せなかったことだ。

これはどう考えてもおかしい。これでは働く意味がないからだ。こういう社会は廃れる。

木下教授によると最低生活保障のレベルは三段階で、上から最賃、社会保険、生活保護が最低基準に位置づく。この逆転現象の解決が何よりも先行する。

そのためには、最賃引き上げと均等待遇がキーワードとなる。倒産だ海外移転だとつべこべ言う企業は憲法違反で、そんなものは社会的存在価値がない。レッドカードだ。

この一点で、ナショナルセンターは共同闘争を組織すべきだ。緊急必要性も可能性もある。好き嫌いやヘゲモニーがどうのこうのと言っている余裕はない。労働組合運動再生のカギがそこにある。私たちもこの方向を声を大にして追求して行こう。



第16回学習会＝09年10月20日（共同事務所）



## 派遣・非正規労働相談ホットライン 09年9月26・27日

9月26・27の両日、「派遣・非正規労働相談ホットライン」を実施しました。今回は、スクラムユニオン・ひろしま、福山ユニオンたんぽぽ、労働相談室・くれの3者共催。このうち、ひろしまには、二日間で 件の相談がありました。以下はそのあらましです。



### 寄せられた相談

区分	相談内容	相談者	対応
再就職	アルバイト(月10万円)を退職、失業給付終了後再就職探すも、ない。就職先はないか。	60歳の男性 ＜電話＞	要望に応じられず、生活保護の申請・受給を勧める。
派遣切り	去年12月派遣切りに遭った。突然切られて、解雇予告手当でもなし。失業給付(90日分)は3月までで終了。貯金を取り崩して生活している。	34歳の男性 ＜電話＞	“生活保護を受ける場合は連絡を。援助する。
派遣切り	3月いっぱい派遣切りに遭った。月4、5回はローワークに行ってるが、62歳という年齢で全部×、再就職できない。失業給付は150日+60日、月13万円くらい。妻が体調悪く介護が必要。	62歳の男性 ＜電話＞ ニチエー→N社	“生活保護を受けるときには支援するので連絡を。”携帯電話の番号を教える。
パワハラ+残業代未払い	パワハラを受けていて、辞めるよう言われている。残業代未払いが08年5月から続いている。	52歳の男性 ＜電話→来訪＞ T社	スクラムユニオンに加盟してもらって、闘うことを確認。
生活保護	いま、お金がない。仕事もない。生活保護を受けたい。	呉在住のブラジル人男性(来訪)	来週、時間をとって対応する。
生活保護	生活保護を受けたい。08年12月24日派遣切り、8/27失業給付終了。サラ金から100万円借金。	西区の男性 ＜電話＞	
再就職	派遣を解雇→雇用保険受給(08年7月終了)。アルバイトを複数続けたが09年8月で失業。①就職先はないか。②生活保護申請は可能か。	東広島市の45歳の男性 ＜電話＞	“①就職先の斡旋は不可、②生活保護申請は市役所担当課で説明を受けること。その結果により相談してください”
残業代	65時間の残業に対して会社に抗議、問い質したところ、「辞めてもいいぞ」と解雇をおわされた。組合にも相談したが、契約社員であることを理由に相手にされなかった。	東広島市の男性 契約社員(G社)	残業時間の記録をとっておくことと、組合に加入することを勧めた。(来所を伝えたが当日は来ず)

### 派遣村から見える戦争と平和

憲法のつどい2009ひろしま  
湯浅誠さん講演会のお知らせ

- とき 11月2日(月) 18:30~21:00
- ところ 広島国際会議場 ヒマワリ  
広島市中区中島町1-5 平和記念公園内
- 参加費 999円
- 主催 広島県9条の会ネットワーク  
連絡先 石口俊一法律事務所  
082-222-0072

### 「働く者の相談室くれ」初めての相談

相談者は30代の既婚女性。相談内容は転勤問題(広島支店から福岡福岡営業所へ)。所長から「会社の方針として事業拡大に向けて営業所を強化したいので、営業の責任者として行ってほしい。無理ならばやめてもらう方法もある」との説明を受ける。

「何故私なのか。理由を聞かせてほしい」と話し合ったが納得のいく説明はされていない。労働組合にも相談し、組合としては会社内の規定とは別に「介護負担への配慮 特別取り扱いに関する覚書」を交わした。組合は「これ以上こじれると覚書は白紙になる」ことを示唆...